平成30年10月更新

授業改善推進プラン（学力調査等分析） 国語 〔中学校第2～3学年〕

東大和市立第四中学校

学年等		項 目	内　容
平成29年度第2学年	平成29年10月	学習に関する生徒の課題	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	今年度の評価と次年度に向けての取組の方向性	
平成30年度第3学年	平成30年10月	学習に関する生徒の課題	・古典の朗読や暗唱は全員がよく取り組めたが、それを仮名遣いで書かせる指導をしなかったため、歴史的仮名遣いのポイントが40ポイント近く低かった。 ・グラフを読み取るが8ポイント、文章の構成や展開に自分の考えをもちが9ポイント低かった。
		具体的な授業改善の方策	・仮名遣いを書いて答える出題をし、ほとんど正答を得ることができた。三学期を前に再度歴史的仮名遣いの小テストをする。漢字テストへの取組に真剣なことを生かして継続する。 ・文章読解の力は対話的な学習で深められてきたと考えられるので、それを継続する。話す・書くの指導を通じて、互いの意見交換を行い、対話的な学習を深める。
	年度末	今年度の評価と次年度に向けての取組の方向性	